

## 平成30年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

1 学校名	佐賀県立唐津工業高等学校		
2 所在地	唐津市石志中ノ尾3072番1		
3 校長名	池田 積		
4 学級数	12学級	5 実施学年	主に1年
児童生徒数	466人	児童生徒数	4人

### 6 取組のねらい

唐津市肥前町にある入野小学校から、ピロティにムカデ板を製作して欲しいとの依頼を受け、むかで板の製作を行った。その際、段差を解消して、フラットな床面にし、バリアフリー化を実現していくと同時に、児童や保護者、車椅子の方など、誰でも安全に通行できるユニバーサルデザイン化を目指し製作していく。

### 7 取組の実際（写真等を入れ具体的な様子がわかるようにすること）

今回の依頼でまず取り組んだことは、児童が下履きと上履きの区別なくピロティを使用しているということを知り、躰の一環として景観を損なわずに、明確な通路としてムカデ板の上を歩いてもらえるような動線計画を行った。そのために手作り感を十分に出すため、身近な杉の木を使用し、児童が遊び感覚でムカデ板を歩いてもらえるような環境に設定した。【写真1】。次に、児童が安全にムカデ板を歩けるように、ムカデ板の底面にゴムマットを取り付け、滑り止め効果を施すと共に、大人数が一斉に歩いても大きな音が出ないように防音効果も得ることができるよう工夫した。【写真2】さらに、ムカデ板の端には車いすでもムカデ板の上を走行できるように勾配をつけたスロープを製作。注意喚起のために黄色に着色し、より安全性を高めた。【写真3】



【写真1】



【写真2】



【写真3】

### 8 取組の成果と課題

設置後、児童達は興味津々でムカデ板を歩くようになったという事を聞き、製作した生徒達も充実感を味わうことができた。また、高校生が製作したこと

で、児童達も一層大切に使用してくれると思う。車椅子での走行での耐久性がどれくらいなのかは今後の課題ではあるが、今後も少しずつ利用者の気持ちになり、製作に取り組んでいきたい。